

# 衆議院環境委員会ニュース

平成 27.12.18 第 189 回国会第 14 号（閉会中審査）

12 月 18 日（金）、第 14 回の委員会が開かれました。

## 1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。  
理事 あかま 二郎君（自民）（理事熊田裕通君去る 10 月 6 日委員辞任につきその補欠）

## 2 環境の基本施策に関する件

- ・気候変動枠組条約第 21 回締約国会議及び京都議定書第 11 回締約国会合の結果について、丸川環境大臣から報告を聴取しました。
- ・丸川環境大臣、竹内厚生労働副大臣、井上環境副大臣、鬼木環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 助 田 重 義君（自民）

- ・気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）の成果及び参加した所感並びに合意文書の作成に当たり我が国の主張が受け入れられた部分について丸川環境大臣に伺いたい。
- ・COP21 で採択されたパリ協定の詳細なルールは、今後構築されることとなるが、我が国としてどのように貢献していくのか、環境省に伺いたい。

### 馬 淵 澄 夫君（民維ク）

- ・国連気候変動枠組条約事務局に提出した我が国の 2030 年度温室効果ガス排出削減目標（日本の約束草案）に対する丸川環境大臣の所感を伺いたい。
- ・COP21 の交渉過程において、米国、EU、アフリカや島嶼国などにより結成された野心連合がパリ協定の採択を後押ししたと承知している。我が国が参加したのは交渉最終日とのことだが、参加にいたる過程について、丸川環境大臣の所感を伺いたい。
- ・環境省に設置されている気候変動長期戦略懇談会がまとめる予定の提言を踏まえ、石炭火力発電の比率を低減していく方針なのか、また、現在の政府の石炭火力発電の海外支援方針を転換すべきなのか、丸川環境大臣の見解を伺いたい。

### 田 島 一 成君（民維ク）

- ・昨年 11 月、野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針が作成されたにもかかわらず、依然としてその利用率が 13% と低い。野生鳥獣肉の活用に向けた法整備の必要性について、竹内厚生労働副大臣の見解を伺いたい。

- ・第 189 回国会で琵琶湖保全再生法が成立したことを受けて、政府は早期に基本方針を策定する必要があると考えるが、その時期について丸川環境大臣に確認したい。
- ・現在、閉塞状況にある指定廃棄物の長期管理施設の候補地選定問題を解決するためには、大臣が自ら現場に出る必要があると考えるが、丸川環境大臣の決意を伺いたい。

### 真 山 祐 一君（公明）

- ・COP21 におけるパリ協定の採択に向けて日本が果たした役割について、丸川環境大臣に伺いたい。
- ・パリ協定の採択を受けて、日本の約束草案に盛り込まれた温室効果ガスの排出削減を加速するための政府の取組方針について、環境省に伺いたい。

### 松 田 直 久君（民維ク）

- ・我が国の気候変動の影響への適応計画について、5 年ごとの見直し期間は妥当であると考えているか、環境省に伺いたい。
- ・これまでの温室効果ガス排出削減のための途上国への資金支援の具体的な効果について、丸川環境大臣に伺いたい。
- ・東京電力福島第一原子力発電所事故の汚染水対策として建設した海側遮水壁について、具体的にどの程度セシウム濃度を低下させる効果があるのか、環境省、原子力規制庁及び経済産業省に伺いたい。

## **島 津 幸 広君（共産）**

- ・丸川環境大臣は、COP21に先立って日本経済団体連合会等と懇談し、気候変動対策について認識が一致したと発言したが、この「認識」とはどのようなものなのか伺いたい。
- ・平成22年から工場や事業場を対象に環境省が行っている「CO2削減ポテンシャル診断」のこれまでの実績について伺いたい。
- ・地熱発電について、固定価格買取制度によって大きな利益が得られる期間のみを狙った事業者による温泉掘削許可申請が相次いでいると聞くが、このことについて環境省の見解を伺いたい。また、このような長期的視点のない地熱開発については、法律による規制を行うべきと考えるが、環境省の見解を伺いたい。

## **椎 木 保君（おおさか）**

- ・パリ協定の採択を受けて、原発再稼働や電力自由化等の政策について、今後どのように取り組んでいくのか、丸川環境大臣の見解を伺いたい。
- ・リサイクル預託金（デポジット）制度が有効であると考えているが、本制度の概要及び導入される場合に想定される仕組みの在り方について環境省に伺いたい。

## **玉 城 デニー君（生活）**

- ・パリ協定において、米国、中国、インド等の温室効果ガスの排出が多く、エネルギー事情が異なる国が参加した意義について、丸川環境大臣の所見を伺いたい。
- ・名護市辺野古のキャンプ・シュワブにおいて、埋蔵文化財が発見されたにもかかわらず仮設の護岸工事が行われようとしている。このことについて防衛省及び文化庁の見解を伺いたい。